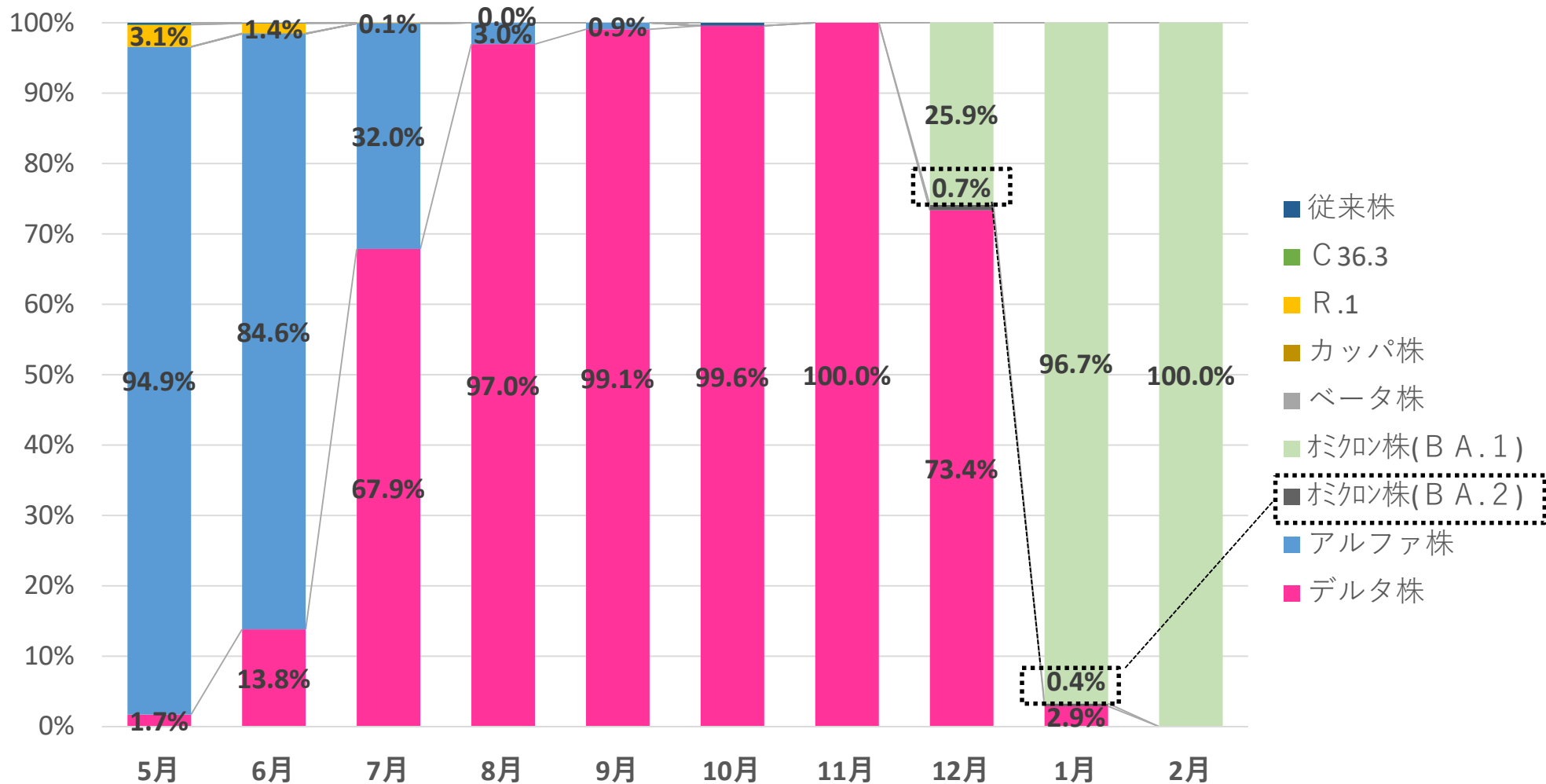


ゲノム解析結果の推移

(令和4年3月3日14時時点)



※ 都内検体の、令和3年5月から令和4年2月までに報告を受けた、ゲノム解析の実績

※ 追加の報告により、更新する可能性あり

ゲノム解析結果について（内訳）

（令和4年3月3日14時時点）

名称	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
アルファ株	2,052	2,133	2,835	354	35	0	0	0	0	0
デルタ株	37	348	6,008	11,423	3,833	234	89	102	225	0
うちAY.4.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株（BA.1）	0	0	0	0	0	0	0	36	7,599	51
オミクロン株（BA.2）	0	0	0	0	0	0	0	1	33	0
ベータ株	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
キャパ株	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
R.1	67	36	7	0	0	0	0	0	0	0
C36.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
従来株	5	1	1	0	0	1	0	0	0	0
計	2,163	2,520	8,851	11,777	3,868	235	89	139	7,857	51
健安研	55	138	161	252	55	57	26	22	800	0
その他	2,108	2,382	8,690	11,525	3,813	178	63	117	7,057	51
新規陽性者数（報告日別）	21,871	12,977	44,448	129,193	31,929	2,134	542	905	194,563	416,405
実施割合	9.9%	19.4%	19.9%	9.1%	12.1%	11.0%	16.4%	15.4%	4.0%	—

- ※ 都内検体の、令和3年5月から令和4年2月までに報告を受けた、ゲノム解析の実績
- ※ その他は国立感染症研究所や民間検査機関
- ※ 追加の報告により、更新する可能性あり
- ※ 新規陽性者数（報告日別）については、1月分の都の公表数の修正を反映

BA.2系統の確認例 12月:1件、1月:33件(29件海外リンクなし)

オミクロン株亜種「BA.2系統」に対応した変異株PCR検査実施状況

変異株PCR検査実施状況

(令和4年3月3日14時時点)

	合計数	2.1~2.7	2.8~2.14	2.15~2.21	2.22~2.28
変異株PCR検査実施数(健安研)	489	195	90	104	100
オミクロン株疑い	442	181	76	95	90
「BA.2系統」疑い	7	0	1	4	2
「BA.1系統」疑い	435	181	75	91	88
デルタ株疑い	1	0	1	0	0
判定不能	46	14	13	9	10
「BA.2系統」疑いの割合(判定不能は除く)	—	0%	1.2%	4.2%	2.2%

【参考】日本国内におけるゲノム解析によるBA.2系統の確認状況

- 検疫1,132例(2/23時点)、国内175例(3/2時点)を確認(厚労省HP)
- 都内では、ゲノム解析により34例(※)確認(3/3 14時時点)
※34例に変異株PCR検査結果によるBA.2系統疑いは含まれてない

【参考】

都内のL452R変異株PCR検査 実施状況一覧

〔オミクロン株疑い(L452R陰性)の推移〕

(令和4年3月3日14時時点)

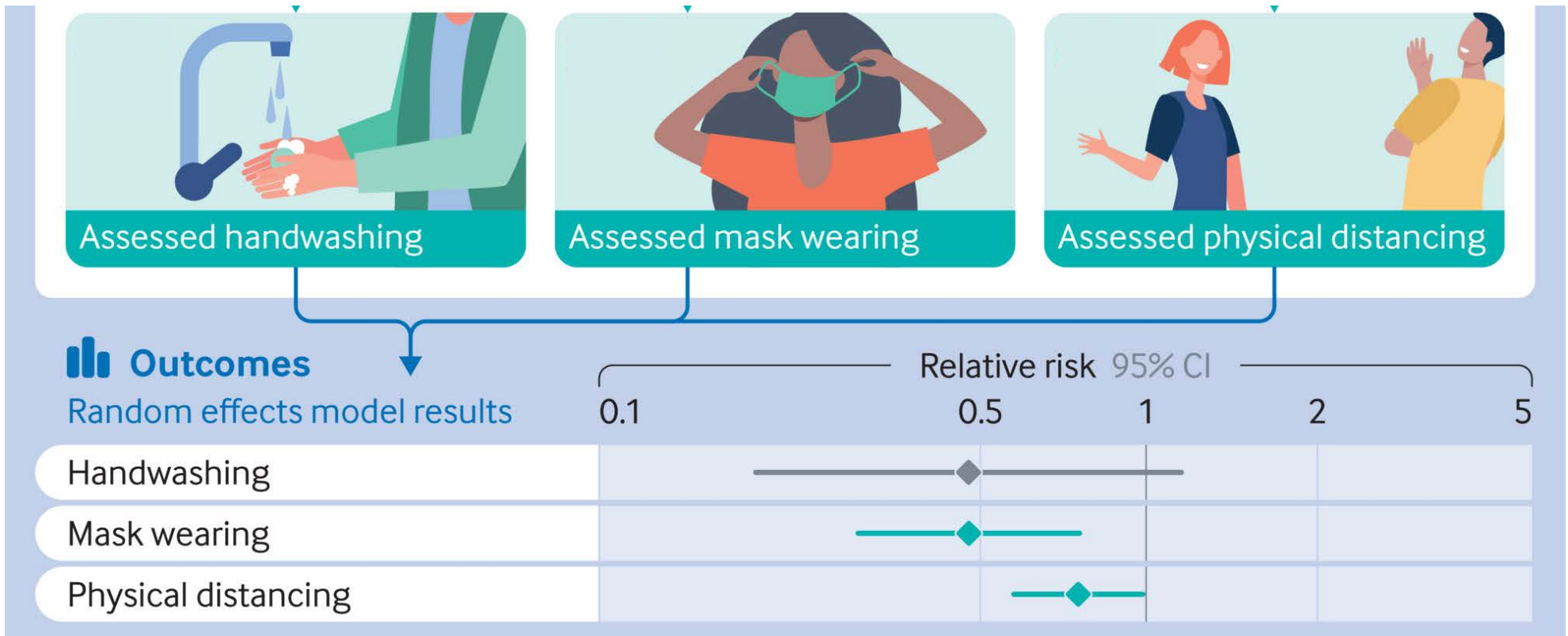
	合計数	12.2まで	12.3-12.6	12.7-12.13	12.14-12.20	12.21-12.27	12.28-1.3	1.4-1.10	1.11-1.17	1.18-1.24	1.25-1.31	2.1-2.7	2.8-2.14	2.15-2.21	2.22-2.28
新規陽性者数(報告日別)	—	—	57	118	173	263	525	5,416	22,769	60,046	106,069	127,357	108,124	102,105	78,819
変異株PCR検査実施数	105,023	29	18	77	143	176	354	3,775	15,016	26,916	30,368	10,182	5,080	10,293	2,596
健安研	2,325	29	2	28	56	52	99	386	436	465	283	195	90	104	100
民間検査機関等	102,698	0	16	49	87	124	255	3,389	14,580	26,451	30,085	9,987	4,990	10,189	2,496
変異株PCR検査 実施割合	—	—	31.6%	65.3%	82.7%	66.9%	67.4%	69.7%	65.9%	44.8%	28.6%	8.0%	4.7%	10.1%	—
L452R変異株 陰性数	※96,062	0	0	0	6	14	158	3,058	13,644	24,915	28,091	9,118	4,626	9,943	2,489
健安研	1,745	0	0	0	6	7	34	286	339	408	223	181	76	95	90
民間検査機関等	94,317	0	0	0	0	7	124	2,772	13,305	24,507	27,868	8,937	4,550	9,848	2,399
L452R変異株 陽性数	1,737	25	17	63	111	140	164	452	401	181	124	33	13	12	1
判定不能件数	7,223	3	1	14	26	22	32	265	971	1,820	2,153	1,031	441	338	106
L452R変異株PCR検査 陰性率	—	—	0.0%	0.0%	5.1%	9.1%	49.1%	87.1%	97.1%	99.3%	99.6%	99.6%	99.7%	99.9%	100.0%

※ L452R変異株陰性96,062件のうち、7,720件がゲノム確定済み

- ※ 12月以降のL452R陰性(デルタ株ではない)は、オミクロン株であることが推測できることからL452R陰性数を計上
- ※ 民間検査機関等の実施数については、追加の報告により、更新する可能性がある
- ※ L452R変異株PCR検査陰性率は、判定不能件数を、検査実施数から除外して算出
- ※ 「12.2まで」の検査結果に、アルファ株疑い1件を計上していないため、検査実施数と結果の件数が合致しない。
- ※ 新規陽性者数(報告日別)については、1月分の都の公表数の修正を反映

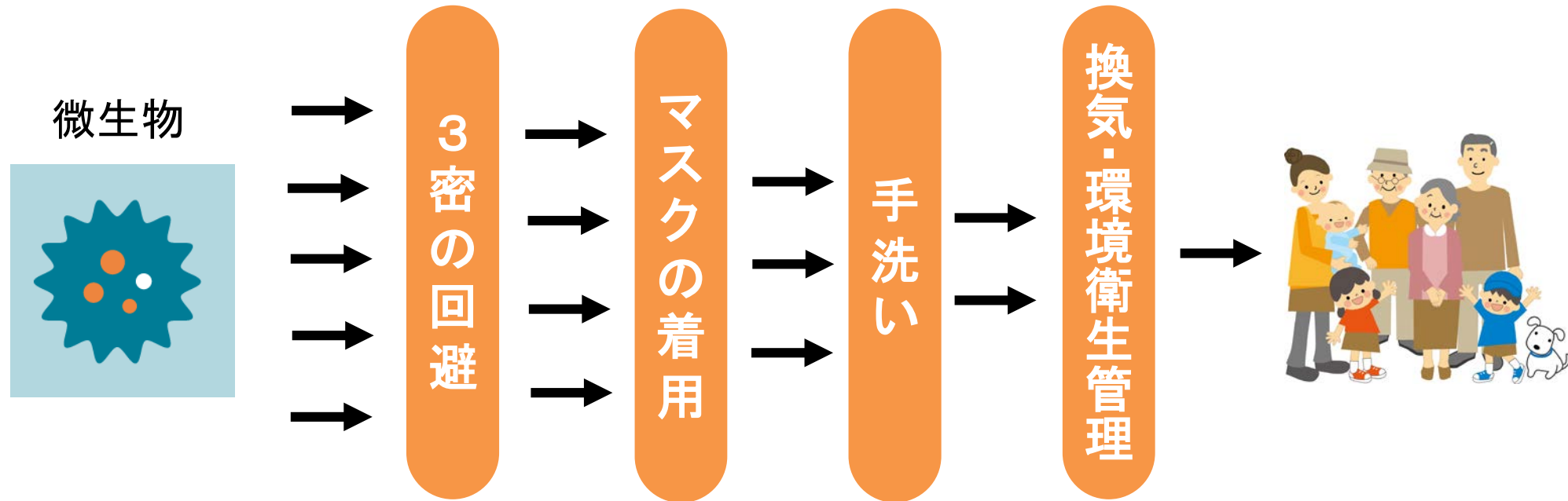
基本的な感染症対策の有効性の評価

- ✓ 手洗とマスク着用は、感染リスクを**約50%以上**減らす
- ✓ 対人距離保持は、感染リスクを**約20%以上**を減らす



徹底した感染症対策の継続

- ✓ 微生物の伝播を100%防ぐことは不可能
- ✓ ワクチン接種(3回目)や基本的な感染症対策の継続など総合的な感染対策によってリスク軽減を図っていく



ワクチン接種後であっても、今後の継続した感染症対策が極めて重要で、円滑な社会・経済活動の鍵となる